

広瀬 弘二 議員

地方分権時代に対応した町の体制は

通告時間 45分

分権型社会への展開のため自治能力の向上と行財政基盤の強化に努めます

地方分権について

問 衆議院選挙の前哨戦で地方分権の主体は市町村にあると思うのですが、どのようにお考えですか。

町長 分権型社会というのは主権者である住民が自分たちの住む地域について自らが考え、決定し責任を持つていくことだと思います。そのためには中央集権による画一的な制度や政策から脱却し、地域の実情や特徴をよく知っている基礎的自治体である市町村と住民主体による地域づくりへ転換していかねばならないと思います。地方分権を進めていくためには国と地方の役割分担の見直しとともに税財源の見直しが必要だと思えます。分権型社会への展開のための基礎的自治体として自治能力の向上と行財政基盤の強化に努めて参りたいと考えています。



今年度4月より再編された生活環境課と写真奥に都市整備課

問 地方分権に合わせた職員体制や研修のあり方についてどのように考えますか。

町長 分権型社会の受け皿として変化の激しい各種制度や諸課題のため、その担い手となる職員の資質・能力に一層の向上を図るため必要に応じて新たな研修も検討して参りたいと思えます。職場の組織体制については機構改革を実施してきましたが、今後地方分権の進展に対応できるように、その都度検討を加えて参ります。現状では特に専門性を持った職員の不足が顕著なので人材の確保に努めていきたいと考えております。

問 分権を進めていくためには私は町議会議員も議会のあり方を変えていかなければならないと考えています。

町長 多古町総合計画については、平成23年度からの10カ年計画のために「町民まちづくりワークショップ」の委員を公募するという広報がありました。町民の意見を積極的に聞くという意味で、極めて有効なものだと思いますが、応募状況はどうなっていますか。

町長 すでに他の施設では期限を待たずして転換を決定したところもあるようですが、当町においては現在の施設を最大限有効活用しつつ、今何が必要とされているのか、そして運営する上での経済性を考慮し、運営を担う病院と共に協議を重ね、政権が変わった国の動向にも注視しながら方向性を定めたいと思えます。

地デジ対応について

問 地デジの難視聴地区対策として町が積極的に有線組合の設立に関与してほしいのですが。

町長 今年度中に地域に向き組合の設立に積極的に関わってほしいと考えています。当初、県は難視聴地域はないという認識でしたが、町として総務省に向き多古町の実態を強く要請した結果、認識が深まったという経緯があります。また、一部不確定要素はありますが、それらは設立準備が走り出した後で修正するという事でやらせていただきます。

いくという町長の決意を伺います。

町長 就任から本日まで、町民の皆様から本日のように誠意努力してきました。中央病院の医師不足には、県や千葉大への積極的な要請を重ね3名の医師を確保、新患診療制限を解消し、順調に病院経営が改善されています。少子化対策においては子育て支援課を設置し、乳幼児医療費の拡大に努め、今後は中学3年生までの医療費無料化を推進いたします。幼稚園、保育施設の整備として幼保一元施設の建設に着手すべく準備をしています。空港圏市町の均衡ある発展、光通信網敷設により情報インフラを整備し、地域による情報格差を解消するなど、町民のため地域のための行政運営が今ほど求められている時はないと思っております。町民が住みやすく、住んでみたい町づくり、そのためには今後も改革の努力を怠ってはならないと痛感し、今任期後も町政の舵取り役を担わせていただきたいと思います。

※西病棟は現在56床（医療療養型26床・介護療養型30床）で運営されています。この内介護療養病床が、制度の廃止により存続できなくなります。

土井 秀敏 議員

多古町のごみ処理は今後どうなる

通告時間 30分

中・長期的な視野に立ち、様々な角度から検討を重ねていきたい

一部事務組合の再編について

問 懸案となっている東総地区ごみ処理施設が稼働を始めた時点で、松山清掃工場は閉鎖され多古町のごみは香取広域市町村圏事務組合で処理されると聞いていますが。

町長 多古町が一部事務組合で共同処理を行っている主なものは、ごみ（匝瑳市ほか二町環境衛生組合）、し尿（東総衛生組合）、消防業務（香取広域市町村圏事務組合）があります。ごみ処理については、東総地域において東総地域ごみ処理広域化推進協議会が設置され協議が行われています。本町のごみ処理は、現在の施設の状態や東総地域の広域化の進展状況を勘案しながら、香取広域市町村圏事務組合での共同処理も念頭に、中長期的な視野に立ち、様々な角度から検討を重ねていきたいと考えています。



老朽化する匝瑳市ほか二町環境衛生組合

多古中央病院の運営について

問 中央病院西病棟は療養病床が平成23年度末をもって廃止され、他の

空港周辺対策について

問 空港周辺対策交付金は、今後ハランスの取れた地域整備を進めていくには、配分を見直す時期にきているのではないかと。

町長 空港開港から30年が過ぎ、配分方法が現状にそぐわなくなってきたと感じています。長い間この配分方法にどの市町も触れませんでした。私が、私は特にこの問題については正面から事にあたっています。30万回の容量拡大が検討されるなか、空港周辺市町は空港を活かした地域づくりを進めなければなりません。今後とも見直しを訴え、その実現に向けて努力いたします。

町長の施政方針について

問 来任期満了を迎えようとする今、今後とも町政の舵取り役を担って

